

会 京都マイコン研究会

第 83 号

(通算100号)

1994年6月1日 発行

発行人 圓 口 佳 昭

トピックス or ニュース

編集部 増田

夏の合宿の日程が決まりました。6月18日(土)・19日(日)。内容は、またまたの「MS-Visual Basic 2時間会得編」と「Windows環境下でのソフト作り」「CD-ROMについて」など講演及び実習を行なう予定です。参加希望の方は会長までご連絡下さい。(申し込み締切6月10日まで)

第22回パーソナルコンピュータ利用技術認定試験が、来る7月17日(日)午前10時より全国一斉に実施されます。今回も当会が京滋地区を担当いたします。

次回例会

日時 6月4日(土) pm 6:30
 場所 大山崎ふるさとセンター
 内容 「MS-DOS」その他



例会報告!!

1. 5月7日(PM. 1:30)

場 所 増田 氏自宅

参加者氏名

圓口、岩井、河原、中辻、中西洋、
 若井、若林、増田、中西秀、 9名

特別参加者

小幡、當野、浅野、小野、仁賀、馬渡、釣
 小西章江、藤村泉、野沢美子 10名
 合計 19名

1:30~2:30 あいさつ・紹介

2:30~3:30 「DTPにおけるプリンテング・デザインワーク」の実用例

3:30~5:00 「フォント」のパソコン実用例と実習

5:30~9:00 研究会の運営と研究部会の進め方



新入会者紹介

仁賀清隆 氏

安田宗守 氏

久々の会員宅訪問例会(本当にお世話になりました。)

会 長 圓 口 佳 昭

例会の感想について本当にいろいろお世話になりました。自分使いを勧めましょうといつも発言している私ですが、今まで使いなれたワークスで作業する事が楽でWindowsで作業をしなかったのですが、今回の例会はよい刺激になりました。益々いろんな情報がCD-ROMで供給され加工する道具としてパソコンが利用されるとき、今回のように実際毎日の作業で活用されている内容を紹介案内される事により、講習内容が実益的で充実した内容になると思えました。

1994年5月 特別例会に参加して

特別講習・講演会の会場模様と感想

五月度例会は、「DTPにおけるプリンティング・デザインワークとフォント（書体）のパソコン実用例と実習」を増田様の講師と小西さん（増田様の従業員）のインストラクタをお願いして盛大なる例会が模様しされた。当日の参加人員は入会希望会員の方も参加されて、予想を上回ったが、会場は増田様から広大な自宅を提供され、さらに、PC98互換機やIBM/PC互換機が、何と6台も提供されて、3人に一台の割合で、ゆったりして受講が出来た。

「DTPにおけるプリンティング・デザインワーク」の実習に「個人名刺」の製作演習が出されて、それぞれのマシンに集まっている人々から、その画面操作や印刷などのトラブルに一嬉一憂した喚声があり、予定していた「MS-Visual Basic入門の奥の手・伝授」の時間が無くなり、急遽取り止める事態となった。

今回の成果は、軽印刷業界におけるMS-Windows上のDTPの使われるパソコンのリテラシと従来の汎用写植機の存亡が明らかにされた。将来、電子写真式印刷プリンタ（ページ・プリンタ、レーザ・プリンタと呼ばれている）が、実売価格が5万円前後になれば、個人用の印刷物は専門業者へ注文されなくなる時代が近づいていることを肌で実感した。

最後に、感想を述べさせて戴くと、画面編集やフォント（文字書体）を駆使して印刷物のデザインが作られて行く様子に、全会員の目の輝きは何時もの例会と違ったように見えた。

今回の開催について、講師の増田様のご好意にすべて縋って、事務局としては深く感謝を申し上げたい。今後も会員の知的レベルの向上に企画が継続されることを希望する。当日、DTPで作成された綺麗な貴重な資料について、実習に入る前に解説が無かったように思う。そのことが残念でならない。（拙者が遅刻したので、すでに終わっていた？）。

(Tomoppy)

特別参加

京都五条 はんこ・印章製造業 當野 泰弘

先日は、大変お世話になりました。

かれこれ五～六年前に増田様より、もうじきパソコンでも我々専門家が使えるものになりますよと言われたことがありました。その時は私自身信じていませんでしたが、今回の講習会に参加して驚きの連続でした。こんなにも素晴らしくかつ自由にそして大胆に作業が進められる環境。これはまさしく、私には時代の革命に近いものを見たようでした。私自身の時代遅れを痛感すると共に、パソコンに興味が出てきました。時間があれば、もっともっと聞かせて頂きたいことが山ほどありました。

フォントとDTPの事をもっと勉強したく思います。増田様にはずいぶん以前にも写真植字機の購入を進められて購入したり、業務の拡張の事でも新規部門にアドバイスをいただくなど。そして、今回のお話は、現実ですぐ役に立つ一歩先の講習会でした。

時代の先を読まれる未来観は素晴らしいものをお持ちであるので、私たち夫婦共々今後ともご指導お願いします。

特別参加

京都五条 版下業 浅野

今回の、講習会に参加出来たことは私にとって大変勉強になりました。

私は、以前は西陣の染色の絵柄を書いていたのですが、着物の不況で印刷などの版下を業としています。版下は印画紙を切って貼ってする。作業の繰り返しだとばかり、思っていました。今回現物を見てビックリしました。パソコンでこれだけ書体があり出力した文字の綺麗なことには驚きました。質問質問の連続でしたが、それだけ私にとっては、興味深いものでした。我々の仲間にはまだ、原始的な作業で仕事をしている人も沢山います。こんなに便利で素晴らしいものがあることさえ知らなかった私が情けない。半面こんな機械を素人が振り回している事は、我々にとっては脅威である。その人達から見れば私達が素人に見えるではないか。

今回から、新会員さんから要望があった「パソコンとMS-DOS 初心者入門」の例会での講習に先立ち、編集部で独断で連載を始めることにしました。最近、売り出されているパソコンとアプリケーションは、約5年前に比べて遙かに充実した商品が売り出されて、MS-DOSを知らなくても十分な機能と操作ができるように考慮されている。それなのに何故、DOSを知りたいと望む声があるのだろうか。その真意が拙者には理解が出来ない。その理解が出来ない本人が、連載を始めるのだから、どんな解説を具体的にすればよいか、方針を持たずに船出をする。皆さんへ舵取りをお願いしたい。

DOSを知りたい、または、教えて欲しいと思っておられる人は最終的にどのように利用を考えて居られるのだろうか。多分、パソコン利用者の先輩などが、アプリケーションやファイルなどの整理にDOSコマンドの使用を話すためと思われる。また、PC98パソコンとその互換機において、拡張メモリ増設、日本語漢字変換(以下、FEPと記す)など英語圏のパソコンと異なった環境が必要で、かつ、市場競争で、各メーカーから用途が同じである製品が多く出されて、ハード・メーカーから供給されているDOSでは、それらの製品をサポート出来ていない。そのために、各社からそれを補完する製品が売られる。それらを組み込むために、最低限のDOS知識が必要になる。本当のDOS知識とコマンドの利用は、フロッピー・ディスクの初期化やメモリ増設、FEP、ハードディスク・ドライブの初期化・設定のために用いるのでは無い。約10年前のパソコンの利用はプログラム開発が目的で多用されたが、現在のようにアプリケーションのみを使用する時代ではDOSコマンドを習得する必要がないと思う。プログラム開発言語を使ってアマ、または、プロのプログラマを目指すなら、DOSコマンドを習得する価値がある。

パソコンを使い始めた初心者が、何故DOSの世界を知りたいのかと拙者なりに分析すると、前述のメモリ増設やFEP、HD

Dの設定されたパソコンを販売していないためである。最近ではハードにインストールされている機種が増加したが、やはり、低価格製品の組み合わせで最高の機能を得ようとする、買った本人が組み込まなければならない。そこで、壁に当たるのがDOSの世界である。最近では、初心者に理解できるユーティリティが添付されるようになり、画面操作でセット出来るので、DOS知識が無くても十分にこなせる。もう一つには、してはならないことであるが、アプリケーションの違法コピーをして、それを自分のマシンへ入れた時に問題が生じてDOSの壁に当たるのだ。これは、正規のマニュアルを読めば、解決するのであるが、パソコン仲間が集まると同じ悩みのお話が提供され、その場のパソコン先輩方からDOS用語が必ず飛び出て、入門者は、やっぱりDOSを覚えないとパソコンが動かせないと勝手に思い込んでしまう。

最近、MS-Windowsが広まって、DOSコマンドを知らなくても自由にアプリケーションを動かせる環境となり、ユーザ・インターフェースがかなり良くなった。さて、前置きが長くなったが、次回からどんな内容になるかお楽しみに。



マニッシュと互換フォーマットの種類は、2DDは、720KB、2HCは、1.4MB

DISK FORMATの種類

5インチの場合

- 2DD・・・640KB、720KB
- 2HD・・・1.2MB (日本のみ)
- 2HC・・・1.2MB

3.5インチの場合

- 2DD・・・640KB、720KB
- 2HD・・・1.2MB (日本のみ)
- 2HC・・・1.4MB

OCRソフト、メディアドライブのデモ、試しましたがグッドでした。

亀島とメディア価格差98,000円と198,000円の価格差使って初めて198,000円の方がだんぜん安いのである。

亀島のマニュアルには、1回のスキャンではだめですよと記載されているので1回目は訂正して辞書登録しました。2回目スキャンしたところ今度は1回目どうもなかった所が認識出来てない。そして、文字の数が少なくなって3文字の所が1文字になり元の3文字に戻そうとあれこれするが2度と戻らない。設定の仕方を変えるが同じ、読み込んだ文字の中にこのような文字に変化したものがチョコチョコあり訂正のしようがない。

雑誌、印刷物、これはだめですね、雑誌の文章はいま全て活字で規則正しく文章を組んだものは無く、新聞でも文章

の組み版は詰め打ち(プロポーションと同じでひらがなや漢字を極限までひつけて文章を組んでいく方法)されてをり、このような文字は亀島では3文字を1文字に読むことがほとんどで、1日かかっても1ページも読み取れなかった。2日目もおなじことで、やるたびに变化するのである。このソフトは原稿用紙に書いたように文字が規則正しく並んでいなければ読んでくれない。メーカーの立場にあるユザ一向けではないソフトなのであった私は2度と触りたくない。手で入力の方が10倍早いOCRソフトであった。ただ、メディアのMac用のOCRソフトを見たがWindows版のようにグッドではなく亀に近いものであったことも報告しておきます。あ～あ疲れた。

スキャナ編今回でしばらく休暇をいただきます。

スキャナを使うのには時間がかかる。何も出来ない。

みなさまご苦労さまでした

増田 則雄

今回の特別例会に遠路、神戸や和歌山、滋賀県からもお集まり下さいまして有難うございました。今回人数の関係で来られなかった会員以外の方々も約7～8名おられましたが、ご勘弁下さい。

初めての自宅での講習会で、マシンが6台。中でもDTPをこなせるマシンが4台揃い、豊富な数えきれないフォント類を使えるように、現場で使用中のマシンをそのままセットしました。DTPには欠かせないツール類やドーロ系グラフィックやOCRソフト又、イメージスキャナ・レーザープリンターキヤノンLBPA304E、EPSON LP8000と勢ぞろいさせました。

DTPと言えばALDAUS社のPagemakerですが、とにかく入力データがあれば、切ったり曲げたり大きくも小さくも自由自在。道具類が揃えばあとは使う人のレイアウトとデザイン能力に尽きるのです。DTPと言えども日本語には、フォントが無ければ無味なものしか出来ません。これらDTPアプリやフォントにも、それぞれ長所、短所、を持ってますこの事にもふれたかったのですが、とにかく皆さん各自が一生懸命で見る見る間に時間が無くなり、当初の予定より私としては、半分も消化していない内容で終わったようなことでした。

当日文字に関する単位の呼び方や種類、フォントの種類など必ず必要とされる事柄をプリントしてお渡し、講習の中でもこの事についてはお話いたしましたのでご理解を得られたと思いますが、確実にお知らせしたかったことは、DTPのアプリケーションを使用したときに戸惑う、文字のサイズです。倍角とか四倍角などという指定はありません。今まで聞き慣れない単位が、文字のサイズを決定するのです。WINDOWSを使い慣れている方でも、ポイント・パイカ・ビット・級・号その他の文字のサイズに対する認識は空白の方が多いようです。他では得られない情報で、今回の例会で必ず埋めてほしかった空白がここでした。DOSでもWINDOWS環境でも使う知識の一つです。

例会に出席出来なかった方々、又、特に文字を扱う方々には惜しいチャンスを逃された事と思います。今後も、例会に参加する意欲と、勉強する努力が自分自身に大きなプラスになることと思います。(今回インストラクターをつとめて頂いた小西さんは、私の会社での版下デザイン作成能力は、スーパーのチラシB4版下が1日に4件処理出来るという優れ者で、DTP暦1年です。在籍通算5年。)

今回では入門のさわりでしたが、DTPの事についてはもう一度企画してみたいと思っています。

部会報告

言語分科会報告

部長 河原 友三郎

過去、1991年度は「C言語コンパイラ関数のBASIC言語のC言語コンバート」、1992年度は「Quick BASIC言語」について、勉強会を行なった。その成果を1993年度に部内からの発表があるかと期待したが、残念ながら音沙汰なしであった。しかし、「Visual BASIC言語」の登場で、その勉強を全会員が受けることになり、1994年度合宿で増田さんから発表されて、他の会員を感心せしめ刺激を受けた。

部を世話するものとして、1994年度は皆さんから積極的に希望されテーマを提案願いたい。もし、提案が無ければ、本年は冬眠したい。

⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔

簡易言語dBase III、部会

部長 中西洋一

dBaseを使用して住所録のプログラム作成を行いました。初めにメニューの画面設計をして、画面プログラムは画面をジェネレータにより自動作成しました。次に各処理プログラムの設計及びデータベースファイルの仕様を設計して、プログラミングをしました。各処理毎にデバックして登録、変更、削除、条件CRT出力及びデータベースメンテ処理のプログラムを完成させました。プリンター出力処理は例会にハードが無いため省略しました。住所録のプログラム作成を当助手dBase IIIの学習が出来たと思っています。後は各自で応用してより高度な利用をしてもらいたいと願っています。しかしパソコンの能力がアップした今日、Windowsの環境でデータベースソフトを構築するのもベターではないでしょうか。dBase系のソフトはまだですが、マイクロソフトのAccessも販売されました。Windowsの環境でデータベースソフトを使用すると画面の作成も対話式で作成でき、データベースファイル(表作成)特に設計しなくても住所録の作成程度ならば短時間で作れます。それにGUI仕様のため顔写真や地図も扱えるので楽しめます。専門部会についてはまだ考えていません。

⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔

なかにし よういち
中西 洋一

Windowsの立ち上げに2分10秒

そうなんです。私のマシンでWindowsを立ち上げるのに2分10秒も掛かるのです。まるでUNIX並（時間のみ）です。

アプリケーションの起動も大変で、たばこが1本吸えるので灰皿が必要です。そんな機械で仕事出来るのかって？仕事は出来ないが、プログラム開発程度は出来るのです。

では、マシンの紹介をします。本体はNECのPC-9801EXに倍速CPU（486-25MHz）と外部4Mのメモリを搭載して120Mのハードディスクが接続されています。内緒ですがCPUを取り付ける時、ソケットのピンが3本切断したので接着剤で引っ付けています。ソフトはMS-DOS3.3CにWindows 3.1とアプリケーションです。

私が、初めて購入したパソコン（ワンボードキット）はNECのTK-80でした。2パスアセンブラをマシン語で入力して、ソースプログラムはオーディオのテープを使用していました。メモリが数KBしかないのでアセンブラ自身とラベル用ワークと実行プログラム（2KB程度）しか入らなかったのを覚えています。この頃は、GUIがサポートされるなんて夢のまた夢でした。また、FDのコントローラ8インチ用（5

インチ用は手に入らない）を使って5インチFDを使用したときは最終セクターでコントローラをリセット

するのにソフトでリセット信号を出したり、フロッピーのFORMATプログラムやP/MモドキのOSをしたりで。毎日夜遅くまでテレビ（CRT）の前に座っていました。・・・・・・若かったのか？ やりがいがあったのか？・・・・・・。

さて、パソコンを使って何をするのかと問われると、ホントに困ってしまいます。

私の場合、仕事で少し資料を作成しますが、ワークステーション（資料作成システム）に慣れてしまいパソコンでは今のところ無理みたいです。でも、少しずつWindowsのプログラムの学習をしていきたいと思っています。Visual Basic をメインにして無理なロジックはC言語でDLLファイル（プログラム）を作成してCコードをVisual Basicから呼び出したいと考えています。最後になりましたが会員の皆様には感謝しています。あまりパソコン雑誌も購

入しませんし、またDOS/Vの知識も無いので、助言も出来ませんが今後ともよろしくお願いします。



夏

期

合

宿

主催 京都マイコン研究会・関西テレビ放送マイコンクラブ

日時 1994. 6. **18**日(土) ~ **19**日(日)

会場 滋賀県滋賀郡志賀町大字八屋戸字久川原字大將軍



(株) 関西テレビ放送 「蓬萊山の家」

会費 10,000円

集合 JR京都駅八条口前、京阪ホテル1F

A.M 10:30 喫茶 **ピエモンテ**
TEL 075-671-8907

お申し込みは 6月5日まで

夏期合宿予定

6月18日(土)

- 10:30 喫茶に集合
- 11:00 出発
- 12:00 食事(坂本 つるき蕎麦)
- 13:30 買い物(夜食その他)
- 14:30 蓬萊山の家 到着
- 15:00 1993年度総会
- 17:00 CD-ROM期について 利根氏
- 18:00 入浴
- 19:00 食事
- 21:00 Dinner Party 夜間講座開催 増田

6月19日(日)

- 8:00 記念撮影
- 9:00 Windows環境下でのソフト作り
- 11:00 解散 蓬萊山の家 出発